令和５年度

避難生活施設運営委員会

会長会議

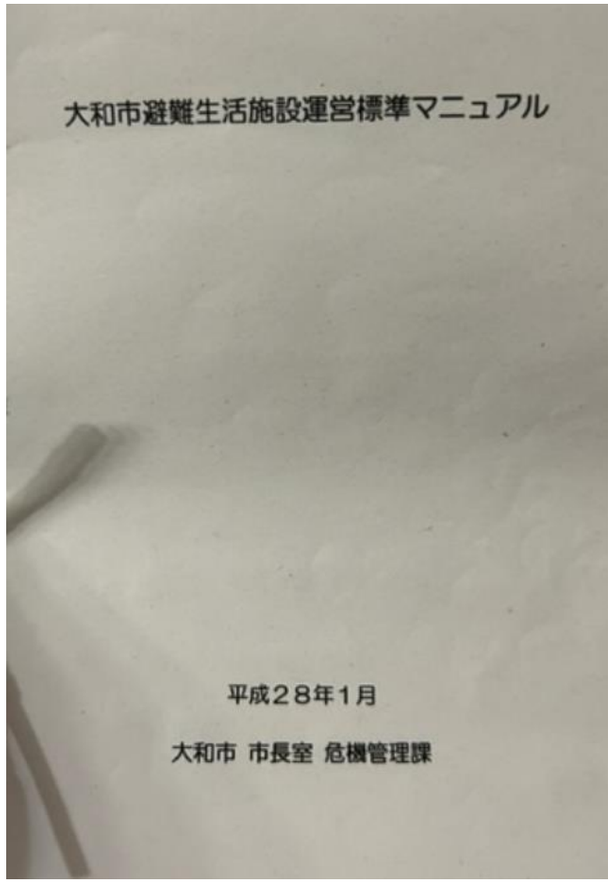
大和市イベントキャラクター
ヤマトン

本 日 の 内 容

（１）避難生活施設運営委員会とは

（２）避難生活施設開設までの流れ

（３）今後の活動について



避難生活施設運営委員会とは？

避難生活施設運営委員会とは①

避難生活施設（市内３３カ所）

避難生活施設運営委員会とは②

●災害時に避難生活施設（市内３３か所）の運営を自主的かつ円滑に行うため、平時から協議や訓練を行う組織

２７の委員会が設立

※高校等は近隣の小中学校と合同

平時

・避難生活施設の運営方法について協議する委員会

災害時

・避難生活施設の運営に従事する委員会

避難生活施設運営委員会の構成員

３者と避難者が協力して運営

自主防災会
（自　治　会）

施設管理者
（学　校）

避難所従事者
（市担当課）

★危機管理課は平時には必要に応じてオブザーバーとして委員会に参加いたします。

市の従事者の役割

「避難所従事者（市職員）は、避難生活施設の運営が円滑に行えるよう避難生活施設の運営業務に従事する」

災害時に円滑な運営を行うために、
平時から**顔の見える関係づくり**が必須

★市と避難生活施設の**橋渡し役。**災害時には主体的な行動が必要

避難生活施設運営委員会の必要性①

阪神淡路大震災での避難所の状況

新潟中越地震での避難所の状況

避難生活施設運営委員会の必要性②

避難生活施設運営委員会があると…

ルール等が明確になり

- 健康状態、衛生環境が改善される
- 居住スペース、通路が確保される
- 情報が開示（共有）される
- 災害関連死を減らすことができる

➡ 生活の「質の向上」を目指す。

地震時における避難の流れ

事前対策

家の耐震化や
家具の固定

備蓄品の確認

危険から
逃れる

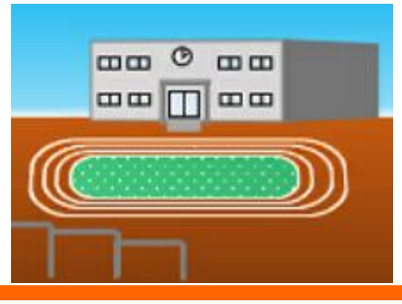
避難場所

一時避難場所で情報収集や
安否確認（自主防災活動）

大規模火災等の危険がある
場合は広域避難場所へ

広域避難場所

市が指定する指定緊急避難場所



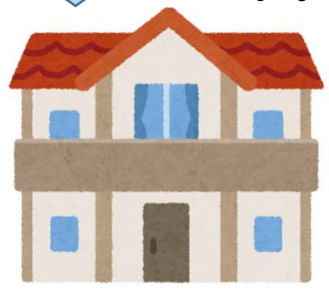
自宅に
住めない

避難生活施設

自宅に住めない方は避難生活施設へ

自宅で
生活できる

自宅へ



避難生活施設開設までの流れ

災害発生

↓

避難生活施設開設の決定

↓

避難所従事者の派遣

↓

避難生活施設の安全性を確認
（応急危険度判定士）

↓

避難生活施設の開設

避難生活施設の運営

- 運営は、自主防災組織（地域住民）が主体となって行うことを基本とする。
- 長期化することが予想される場合には、初動期は自主防災組織が主体となって運営し、安定してきた段階（およそ３日目程度：運営期）で、**避難者が主体**となるよう移行していく

避難生活施設運営委員会の組織（例）

運　営　本　部　（自主防災会・市従事者・学校）

総務班	避難生活施設の運営統括、事務局、管理　等
名簿班	避難者名簿の作成、安否等問い合わせ対応　等
食糧班	食糧調達、配給　等
物資班	物資調達、管理、配給　等
救護班	負傷者救護、要援護者の移送、こころのケア　等
衛生班	ごみ、トイレ、清掃　等衛生管理　水の確保　等
情報広報班	情報収集、情報発信　等

避難生活施設の初期段階

初期段階として発災から3日間ほど。
避難者には避難生活施設での生活ルールを周知し、活動に協力してもらいます。
初動期の活動は以下のように多岐にわたるので、混乱を避けるためにも自主防災会や避難者の協力が必要になります。

（例）〈作業内容〉
・避難者数の確認（受付）
・避難者への対応
・けが人や要配慮者への対応
・体育館の区割り
・トイレの確保
・学校施設の利用ルール周知 など

避難生活施設の運営期

災害発生から、3日～1週間程度の時期。
避難者が避難生活施設での生活に慣れ、支援物資も届くなど、避難生活施設の運営が安定しはじめます。
この時期から、集団生活のストレスからの疲労や窮屈な姿勢を強いられたことによるエコノミー症候群が発生するなど、体調を崩す避難者が増えてくるため、避難者の健康状態や衛生環境に配慮した運営が求められます。
回復するライフラインが出てくることにより、避難者数も減少しはじめます。

（例）〈作業内容〉
・避難者の入退所管理
・健康相談
・物資の調達、管理、配布
・衛生環境の整備　など

避難生活施設の縮小・撤収期

ライフラインが本格的に復旧し始め、避難者の人数が減少することで、避難生活施設運営本部の負担が大幅に軽減されます。避難生活施設で生活する避難者には、避難生活の長期化に伴いプライバシーの確保等が求められます。

また、学校教育が再開されることもあり、使用範囲等を施設管理者と調整する必要が生じます。

（例）〈作業内容〉

・プライバシーの確保
・避難生活施設の統廃合に伴う移動・調整
・避難生活施設の閉鎖
・避難生活施設運営本部の廃止　など

防災備蓄品の保管場所

長さ 約6m 幅 約2.4m 高さ 2.5m 面積 約14.4㎡

14.4㎡ ＝ 4坪ちょっとの倉庫

防災備蓄品の例

食料

ご飯、パン、ようかん、ミルク

クリアボックス

使用用途別にBOXを作成

（２）避難生活施設開設までの流れ

地震時における避難の流れ（再掲）

事前対策

家の耐震化や
家具の固定

備蓄品の確認

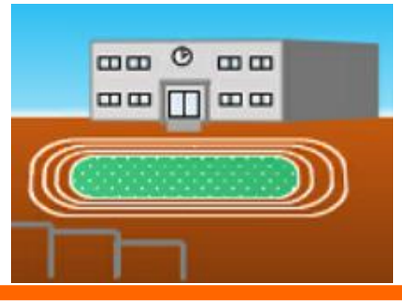
危険から
逃れる

避難場所

一時避難場所で情報収集や
安否確認（自主防災活動）

大規模火災等の危険がある
場合は広域避難場所へ

広域避難場所
市が指定する指定緊急避難場所



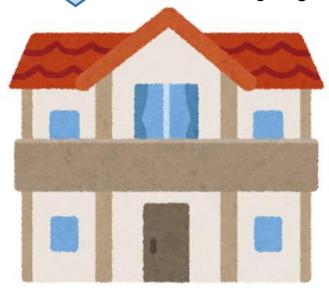
自宅に
住めない

避難生活施設

自宅に住めない方は避難生活施設へ

自宅で
生活できる

自宅へ



避難生活施設開設までの流れ（再掲）

災害発生

↓

避難生活施設開設の決定

↓

避難所従事者の派遣

↓

避難生活施設の安全性を確認
（応急危険度判定士）

↓

避難生活施設の開設

避難生活施設開設までの流れ（各活動班）

会長・副会長　…　運営委員会へ参集、役割の指示

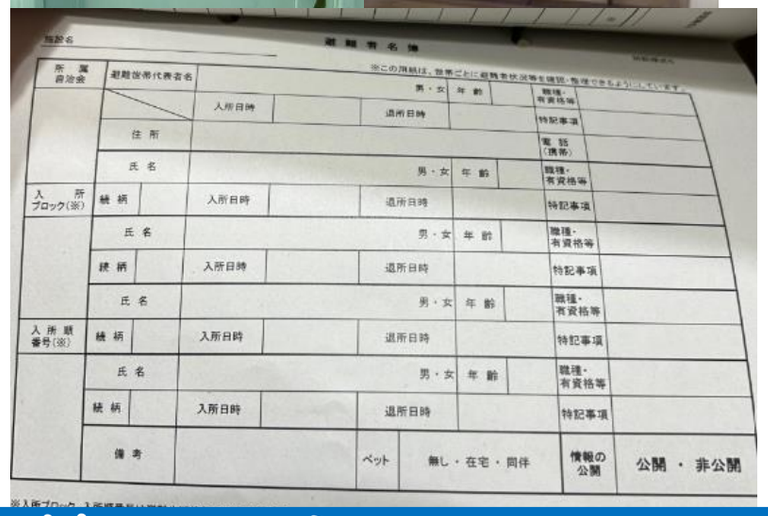
総務班	避難者の整理、誘導。体育館の区割り　等
名簿班	避難者の受付準備　等
食糧班	飲料水の確保、食料の配布準備　等
物資班	避難者の受付準備補佐、防寒具配布　等
救護班	傷病者の把握、救護所の設置　等
衛生班	簡易トイレ、ごみ置き場の設置、衛生管理　等
情報広報班	情報収集、発信　特設公衆電話の設置　等

避難生活施設開設・運営における注意事項

① 体育館の区切り

② 立ち入り禁止区域の設定

③ 避難者の受付



（３）今後の活動について

運営委員会の平常時の取組み

- 顔の見える関係の構築
- 運営方法の協議、マニュアル等の見直し
- 施設、資機材の確認
- 訓練の実施

（例）年間スケジュール

※地域の実状により異なります

総会
名簿更新
年間計画

→

訓練計画
施設確認

→

訓練実施

→

訓練反省
マニュアル見直し

（例）資機材取扱い訓練

- 発電機や投光器など避難生活施設で使用する資機材を取扱訓練。

（例）開設訓練

- 実際に避難生活施設開設にあたり、区割、名簿記入、避難者の受入を行う訓練。

参考

（例）年間スケジュール
※地域の実状により異なります

・名簿更新

・会長から本日のフィードバック

・課題解決

・資機材取扱い訓練等

今後の運営委員会活動について

【話し合ってみましょう】

●第一回運営委員会の日程を相談しましょう。

●今後の連絡先（メールアドレスなど）を交換しましょう。

危機管理課メールアドレス
sc_kikik@city.yamato.lg.jp
メールで調整をするときは、上記アドレスをccに入れてください。

今後の運営委員会活動について

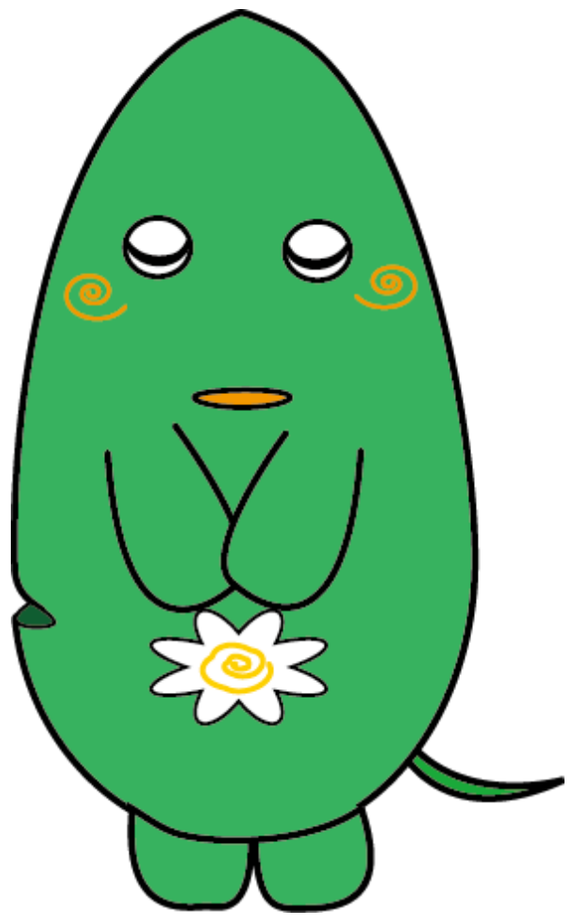
【お願い】

★今後の避難生活施設運営委員会の開催について、原則市の避難所従事者の方との調整をお願いします。

★本日交換した連絡先を用いて、より一層顔の見える関係を築くことで、災害に強い大和市を一緒に作っていきましょう！！

★危機管理課は今までと同様に、必要に応じオブザーバーとして委員会に参加いたします。

御清聴ありがとうございました。



大和市　危機管理課